

東京都OPEN水泳競技大会 2019 追加要項

1 競技について

- (1) 本競技会は、2019年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選は年齢区分に関係なく全年齢で行う。出場者が10名に満たない場合も予選を行う。
- (4) 決勝は、予選の結果年齢区分別上位10名が出場できる。予選で同記録により定員を超えた場合は、スイムオフにて決勝進出者を決定する。棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 1500m自由形、800m自由形はタイムレース決勝とし、年齢区分に関係なく全年齢で競技を行い、年齢区分別に順位を決定する。
- (6) スイムオフは、予選のランキング発表後15分以内に本部席にて該当選手または所属責任者の立会いのもと実施時刻を決定する。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合、スイムオフ出場を棄権するものとみなす。スイムオフを棄権した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (7) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は2名とする。
- (8) 招集は競技開始20分前から行う。予選はダイビングプール横、タイム決勝・決勝は招集室にて招集を行い、その際に水着の確認を行う。本人確認の為必ずADカードを持参すること
- (9) 予選・タイム決勝を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにリゾリューションに棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙の提出がない場合は、1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (10) 決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションに1種目あたり棄権料3,000円を添えて棄権用紙を提出すること。指定時間までに棄権用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- (11) 予選・決勝・タイム決勝を無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目あたり罰金3,000円を徴収する。
- (12) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (13) 予選・タイム決勝のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただし、50m種目、背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝は横退水とする。
- (14) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。バックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (15) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側に周回板を提示し、コールは行わない。
- (16) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (17) 予選・タイム決勝は組のみの紹介、16歳以下の決勝は各レーンで紹介、17歳以上の決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (18) タイム決勝・決勝では選手は退水後、係員の指示に従いミックスゾーンを通り抜けて退場すること。
- (19) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (20) 本大会は上訴審判団を設置する。
- (21) 本大会はADコントロールを行うので、常にADカードを携帯すること。

2 表彰について

- (1) 各種目1位～3位に賞状を授与する。また、1位には副賞を授与する。
- (2) 最優秀選手（男女各1名）・優秀選手（年齢区分別・男女別各1名）をタイム決勝・決勝におけるFINAポイントによって選考する。世界記録・日本記録で泳いだ選手には追加ポイントを与える。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。

3 開場について（大会1日目～4日目）

- （1）7時00分に開場し、入場順に従い入場する。
- （2）入場順は以下のとおりとする。
 - ① 各団体代表者1名（参加選手数の多い順とする。別紙「入場順番表」を参照）
 - ② ①以外の監督、顧問、コーチ、マネージャーなど
 - ③ 出場選手（先着順・スタンド入場口の外で係員の指示に従って整列すること）※①～③はいずれもADカードが無いと入場できないので、必ず事前に団体受付を行うこと
- （3）大会当日の入場前にスタンドのコーチ席を割り当てる抽選を行う（毎日行う）
- （4）保護者および一般観覧は選手の入場後30分を目途に入場開始する。
- （5）天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

4 団体受付

- （1）参加団体の責任者は、来場初日に団体受付を行うこと。
- （2）団体受付時にADカード、事前販売プログラム、領収書（申請団体のみ）を配布する。
- （3）団体受付は、以下の場所・時間で行う。
 - ① 11月20日（公式練習日）
場所：レストラン側入口 時間：13時00分～18時00分
 - ② 11月21日～11月24日（競技会日、開場前）
場所：スタンド入場口付近 時間：1日目は6時30分～、2日目以降は6時45分～7時00分
 - ③ 11月21日～11月24日（競技会日、開場後）
場所：スタンド受付 時間：7時00分～競技終了※当日の団体受付（AD受け取り）は混雑が予想されるため、公式練習日に行うことを推奨する

5 選手の控え場所について（別紙「会場図」を参照）

- （1）スタンドには、ADカード所持者のみ立ち入り可能な選手・関係者席と、それ以外に一般観覧者席を設ける。荷物・カード・紐等での場所取り行為を禁止する。
- （2）スタンド1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- （3）スタンドの一部にコーチ席を設ける。利用はチームスタッフAD所持者のみとする。なお、座席の確保（場所取り）はできない。
- （4）17歳以上の選手が多い大学と、人数が多い団体を中心にウッドデッキを割り当てる。
- （5）参加人数の多いスイミングクラブを中心にトレーニングルームを割り当てる。
- （6）トレーナーズベッドは、ダイビングプールとサブプール周辺の指定エリアでの使用を許可する。
- （7）混雑が予想されるため譲り合って使用すること。
- （8）以下のスペースは場所取り禁止とする
 - ① スタンドの座席以外のスペース
 - ② 出入口や扉、階段付近のスペース
 - ③ 電光表示板裏のスペース
 - ④ レストラン側入口から更衣室に入るまでのスペース
 - ⑤ サブプールの一部プールサイド（スタート側の共用荷物置き場）
 - ⑥ プール周辺動線の妨げとなるスペース
 - ⑦ 更衣室内
 - ⑧ その他 ※消防法により制限される場合があるので、係員の指示に従うこと
- （9）メインプール更衣室では更衣のみ行い、荷物を放置しないこと。
- （10）サブプール更衣室は使用できない。

6 招待選手について

招待選手の入場方法、待機場所は別途案内する。

7 プールの使用について ※混雑状況によって変更する場合があるので、当日は係員の指示に従うこと

(1) メインプール

- ① 水深 2m、水温 28.0 度に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始 15 分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時の 1 レーンはスタート側から、10 レーンは折返し側からのダッシュレーンとする。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。また、9 レーンはペースレーンとする。(クロールのスイムのみ)
- ④ 公式スタート練習は、1 レーンで、8 時 15 分から 8 時 45 分まで行う(スタート側から)。利用人数によりレーンを増やすことがある。
- ⑤ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。

(2) サブプール

- ① 水深 1.2~1.4m、水温 28.5 度とする。
- ② 1~3 レーンを女子専用、5~7 レーンを男子専用とし、4 レーンはペースレーンとする。
- ③ 飛び込みは禁止する。ダッシュレーンは設けない。
- ④ パドルの使用は禁止する。
- ⑤ 混雑時はコードの使用を禁止する。
- ⑥ 競技中はホイッスルの使用を厳禁とする。

(3) ダイビングプール

招待選手など指定された選手以外は使用できない

8 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、事象発生後 30 分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、1 種目あたり抗議料 10,000 円を添えてリゾリューションに提出すること。

9 公式練習について

- (1) 11 月 20 日(水) 13 時から 19 時まで大会会場で練習できる。
- (2) レストラン側入口から入場すること。(開場時刻 13:00・最終入場 18:30 まで)
- (3) 入場は、選手・監督・コーチ・チーム関係者のみとする。一般の入場はできない。
- (4) 更衣は、メインプール更衣室を利用すること。
- (5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。
- (6) プールの利用方法は、「7 プールの使用について」に準じる。ただし、公式スタート練習は行わない。また、変更がある場合は電光掲示板に表示する。
- (7) トレーニングルーム等、メインプールおよび更衣室以外のエリアは一般開放中のため立ち入りは禁止とする。
- (8) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。

10 監督者会議について

監督者会議は行わない。

11 参加標準記録超過について

- (1) 参加標準記録の超過が発生した場合、当該選手が所属する団体の責任者がリゾリ्यूションにて1種目あたり超過料1,500円を大会期間中に支払うこと。なお、大会期間中に超過料の支払いがなかった場合は、超過料とは別に延滞金1,500円を加算して団体宛に請求する。
- (2) 超過料は当該選手本人ではなく、エントリーを行った参加団体に課す。
- (3) 大会当日に参加標準記録を突破できなかった場合でも、エントリー時点（エントリー締切日）で参加標準記録を上回る公認記録（長水路）の実績があり、それを証明できる場合は、超過料金の支払は免除する。なお記録の証明は公益財団法人日本水泳連盟公認サイト「スイムレコードどっどこむ」または「スイムレコードモバイル」を参照し、所定の報告書をリゾリ्यूションに提出すること。

12 その他

- (1) 会場でのADカード発行および再発行は手数料1,000円を徴収する。
詳しくは別紙「ADコントロール実施について」を参照すること。
- (2) プールサイドでは室内履きに限り使用を認める。
- (3) 決勝スタートリストを前半競技100円、後半競技100円の2部に分けてスタンド受付で販売する。
- (4) 大会1日目から3日目は競技終了後、以下の通り荷物を残置可能とする。
 - ①スタンド受付の後方のスペース
 - ②ウッドデッキ・トレーニングルームの荷物は団体別に1か所にまとめて残置可能とする。※これ以外の場所に残置された荷物は忘れ物として次の通り扱う。詳しくは係員の指示に従うこと。
- (5) 忘れ物は、スタンド受付に保管する。最終日競技終了後、破棄する。
- (6) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (7) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (8) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (9) 大会期間中のレストラン側入口は使用できない。（前日の公式練習日を除く）
- (10) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。悪質な場合は、警察と連携し対応する。